

NIPPONIT チャリティ 駅伝 支援金

2024年1月～11月の事業報告

認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね



2024年1月に、NIPPONIT チャリティ 駅伝様より150万円のご寄付をいただきました。

たらちねでは、この支援金を子どもたちの健康を見守るための事業に役立たせていただいております。

【たらちね「こどもドック」の実施】

たらちねクリニックで実施している「こどもドック」は、子どもの健康診断です。

診療科目は血液検査、甲状腺検診、身体測定、ホールボディカウンターに加え、尿中セシウム検査による全身放射能測定などです。

福島県内では、帰還困難区域だった箇所解除が進んでおり、家族を伴い帰還する方や移住する方も増えています。解除にはなっているものの、いまだ高線量に汚染されている箇所も多く見受けられ、子どもたちが元気に生活するには、危険な場所も多くあります。それは、双葉郡に限らず、福島県内全体にもあり常に被ばくのリスクが付きまといまいます。日常の放射能測定を行うことと、飲食に気をつけることで、被曝の影響のない地域の子どもたちと同じ健康な体を維持することができるよう努めています。

子どもドックとこどもドック手帳の配布

「事故当時小さかった子どもたちが成長し、大人になっても自分自身の健康を守っていけるように」という願いを込めて作成しました。子どもドックを受診者、全員にお配りしています。健康診断の結果が記載できるようになっています。

たらちね・子どもドックのご案内

対象者：東日本大震災当時、18歳以下だった方(お誕生日が1992年4月2日以降の方)

検査項目 ※希望する項目のみを受けることもできます	自己負担で検診を受ける場合	全国の皆さまらのご支援を受けて検診を受ける場合
診療 ・内科診察		
甲状腺超音波(エコー)検査 ・のう胞や結節などの有無を調べます	3,500円	無料
ホールボディカウンター(WBC) ・全身の放射能測定(5-15分間)	無料	無料
尿中セシウム測定 ・自宅での2回の蓄尿が必要です	4,000円	無料
身体計測・生理学的検査 ・身長・体重・視力・聴力・血圧		
血液検査 ・末梢血液一般 ・FT4 ・CRP ・ALT ・カルシウム ・クレアチニン ・ナトリウム及びクロール	5,260円	無料
・末梢血液像 ・TSH ・AST ・血糖 ・ヘモグロビンA1c ・BUN ・UA ・カリウム ・BIL/総 ・Tcho ・γ-GT ・ALP		
尿一般検査 ・比重、PH、蛋白、糖、ウロビリノーゲン、潜血	1,300円	無料
心電図	1,300円	無料
合計	14,060円	無料

※採血などの検査を怖がるお子さんには、実施できない場合もあることをご了承ください。
※肺呼吸機能検査も受けることができます。

※こころのケア(看護師/スタッフとの相談)も受け付けております。

一般的な血液検査は肝臓、腎臓、貧血、炎症反応などを調べます。
たらちねクリニックの血液検査は上記の項目に加えて甲状腺ホルモンなども調べます。

【たらちねクリニック】
福島県いわき市小浜浜花畑町11-3 カネマンビル3階
TEL 0246-38-8031



1月～11月までの期間に子どもドックを受けた子どもの人数：のべ **189名**

1回の実施で 子どもドック10,000円+尿中セシウム測定4,000円ほどかかる検査です。NIPPONITチャリティ 駅伝さんからの支援金は、全額子どもたちの検診とそれらにかかる費用に使わせていただきました。

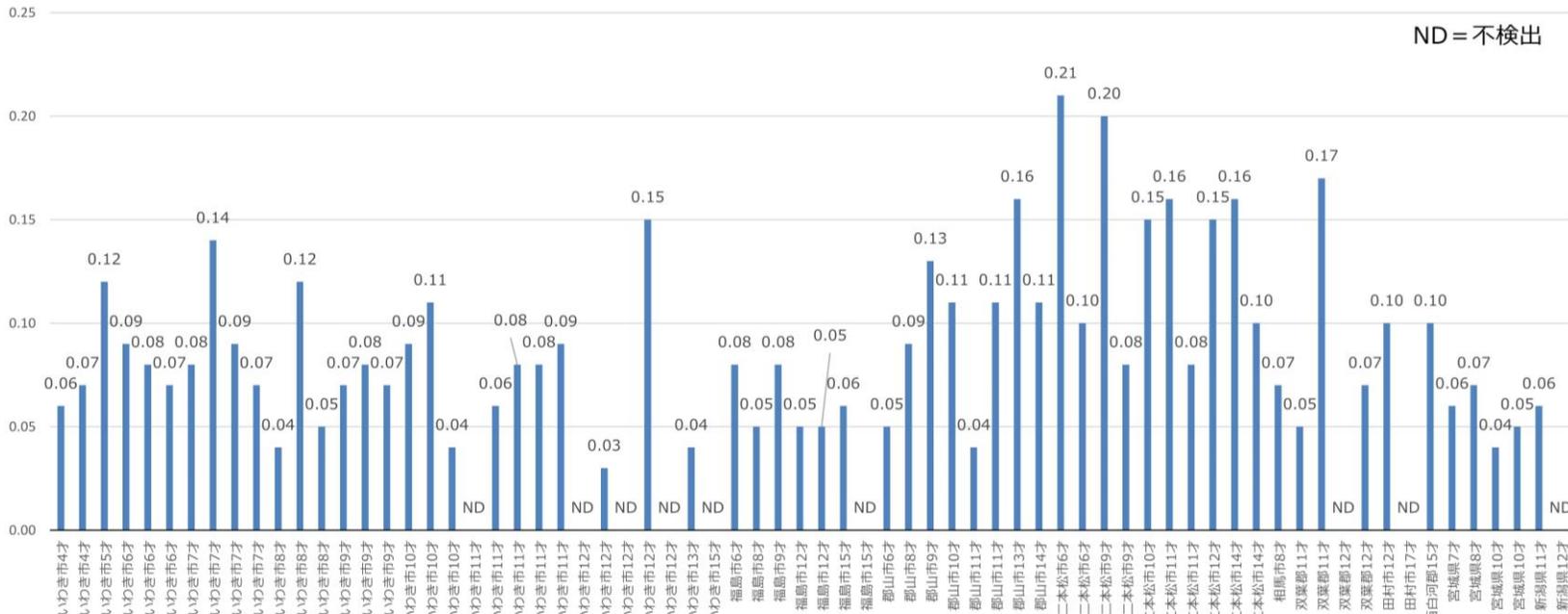
尿中セシウム測定方法と測定結果

尿中セシウム測定の目的は**内部被ばく**を測定することです。その結果により、日常生活や食事の改善などのアドバイスや検診につなげていきます。



尿中セシウム測定を行う事で、体内にどのくらいセシウムが存在しているか可視化することができます。生活の見直しにも、役立ちます。

Bq/kg 子ども 尿中セシウム測定結果 ・平均 0.081Bq/kg ・検出下限値0.03~0.04Bq/kg



ND = 不検出

子どもドックの様子



子どもドック利用者の声

- 娘が風邪で受診した時に、こどもドックを知りました。震災当時学生だった私も一緒に検査してもらえました。スタッフの皆さんが娘をみてくれたので安心して自分の検査ができました。
- 普段の生活や食べているものが、身体に影響がないか不安だったけれど、尿中セシウム即手を受けて、数字で見ることができたのでわかりやすかったです。
- 事故当時は子どもたちは小学生で、外をかけずり回っていました。後から放射能の影響を知り、心配していました。甲状腺検診で異常がなかったので、とても安心しました。

これからも、子どもたちの健康を守るためにご支援者の皆さまと力を合わせ、子どもたちのために尽くしていきたいと思ひます。

いわき放射能市民測定室たらちね 事務局長 木村亜衣